

大崎上島町 社協だより

No. 229

2022(令和4)年5月発行

〒725-0401 広島県豊田郡大崎上島町木江5-9
社会福祉法人 大崎上島町社会福祉協議会 (TEL 0846-62-1718)
ホームページ <http://www.syakyo.net/>



「まずはやってみよう！」に期待と不安！？ 鮎崎サロン de Zoom を学びました！



講師は集落支援員の円光さん



「どんなことするんだろう」とドキドキワクワク！



ミカタカフェともつないで、担当の永峰さんとお話しました。



講師や社協職員だけでなく、参加者同士でも教え合う場面もありました。



4月28日(木)、鮎崎サロンにおいて、オンライン会議アプリZoomを使ったオンライン講習会が行われ、15名の参加がありました。大崎上島町集落支援員の円光さんを講師にお招きし、参加者は自分のスマホや準備したタブレットで講習会がスタートしました。

実施したアンケートにおいて、参加者のうち5名がスマホを所有し、電話やメール、LINEは普段の生活の中で使っておられましたが、Zoomを使うのは初めての方ばかりでした。緊張の面持ちの中、円光さんが説明する言葉ひとつひとつに頷きつつも、首をかしげることの連続で、言葉の伝え方の工夫で何とかZoomを使ってミカタカフェと接続することができました。

担当の永峰さんが取り組みを紹介され、初めてミカタカフェの存在を知った方もおられ、興味を持たれた参加者からは、「まだ行ったことがないから、今度行ってみよう」など、次につながる交流がオンラインで行うことができました。

これからも社協は、「つなぎ役」としてこのような講習会なども企画いたしますので、ご興味のあるサロンがありましたらぜひ社協(☎62-1718)までご連絡ください！



県立広島大学 令和3年度 重点研究事業の実施(報告)について

県立広島大学では、地域課題の解決による地域産業の振興等への貢献を目的として、重点研究事業「地域課題解決研究」を実施することとし、県内の地方公共団体、公的機関及び公共団体から研究課題を募集しています。



近年、少子高齢化や家族構成の変化、地域社会の弱体化などにより、住民一人ひとりが抱えている課題も様々になってきており、制度のみでは対応しきれない時代を迎えています。今回は高齢者の方が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを送ることができるような「生活全体を支える地域の仕組み」がテーマになっています。

本会は、昨年度に引き続き、県立広島大学が公募した令和3年度 重点研究事業「地域課題解決研究」に応募し、採択されました。

これを受けて県立広島大学（保健福祉学部）が令和2年度に大崎上島町で暮らす65歳以上の高齢者及び高齢者を支援する対人援助専門職を対象にインタビュー調査を実施した結果を踏まえ、令和4年3月22日、25日（2日間）にワークショップ形式でグループワークを開催しました。



ワークショップは、令和2年度のインタビュー調査に協力してくれた方や、さらに新たな対象者を加えて案内し、大崎上島町で暮らす65歳以上の高齢者11名、高齢者を支援する対人援助専門職5名が参加しました。

ワークショップの内容は、インタビュー調査の分析結果を報告し、結果報告を踏まえて、対人援助専門職の視点に加え、高齢者自身が望む生活という視点から、『**島で安心して暮らし続けるために、なにがあったらいいか**』について意見を収集しました。

令和4年度も重点研究事業に応募しており、令和2年度に実施したインタビュー調査の結果と令和3年度に実施したワークショップの成果を踏まえ、大崎上島町において、高齢者の方が安心して安全に暮らすことを可能にする持続可能型介護・生活支援創出をめざしていきたいと思っています。



認知症と上手に付き合っていくために②



認知症と上手につきあっていくためには、病気によって起こってくる複雑な気持ちについて理解しておくことが大切です。以下を参考に、コミュニケーションのワザを磨きましょう！

●認知症のある方の気持ち

認知症のある方で、病気の自覚がない方でも多くは、「自分に何か異変が起きている」と気が付いておられます。次のような複雑な気持ちを抱えているので、きつい言葉や対応は控えましょう。

不安な気持ち 「自分に何が起きているんだろう」
「この先どうなるのか」

悔しい気持ち 「なんでこんなことができないのか」
「ひとにばかにされる」

申し訳ない気持ち 「家族に迷惑をかけている」
「もっと役に立ちたい」



●認知症のある方との接し方

- ★できないことを責めるのではなく、できることを認めましょう。
- ★なるべく前向き・積極的になれる声掛けをしましょう。
- ★笑顔で接しましょう。
- ★ささいなことでも家庭や社会での役割を担ってもらいましょう。
- ★失敗しないように手助けしましょう。
- ★本人の希望や意思、ペース、長年の習慣などを尊重しましょう。



●こんなときどうする？

◆食べたはずなのに「ごはんはまだ？」

→「もうすこし待ってくださいね」などと伝え、例えば植木のことなど別のことをしてもらって関心をそらしたり、間食の準備も満腹感をもたらす方法のひとつ。「さっき食べましたよ」は逆効果です。

◆財布などをなくして「盗まれた！」

→「身近で介護する家族などが犯人として疑われます。「ひとまず探してみましよう」など一緒に探しながら、関心を他にそらしつつ、探し物はなるべく本人が見つけられるようにしましょう。他の人が見つけると疑いが深まる場合があります。

お知らせ

認知症の人と家族の会

～6月定例会のご案内～

日時：6月24日（金）

9:30～11:30

場所：オレンジハウス

対象者：認知症状がある方

在宅で介護されている方

※予定変更の可能性あり

《相談窓口・問い合わせ》大崎上島町地域包括支援センター ☎67-0022

大崎上島町木江5-9（木江保健福祉センター内）

ご寄付ありがとうございました

お寄せいただいたご寄付は、福祉のまちづくり推進のため、有効に活用させていただきます。

【令和4年4月9日～令和4年5月13日 お申し出分】

【香典返し】

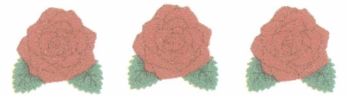
- ・東野 藤原 保弘 様 (故父 睦弘 様)
- ・中野 上田 新一 様 (故母 葉子 様)
- ・沖浦 久保田 哲 様 (故兄 均 様)
- ・中野 近下 洋介 様 (故父 宏己 様)
- ・大串 奥本 恵明 様 (故母 コメヨ様)
- ・中野 川本 孝司 様 (故母 敏恵 様)
- ・木江 前田 加代子様 (故子 太 様)

【生前のお礼】

- ・中野 水井 政治 様 (故妻 妙子 様)
- ・東野 川本 暎子 様 (故次男 幸次郎様)
- ・沖浦 上利 多代子様 (故夫 忠範 様)
- ・東野 山根 幸恵 様 (故伯父 大野博幸様)
- ・原田 石本 扶美江様 (故母 ミツエ様)

【一般寄付】

- ・匿名 (2名様)

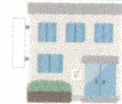


お知らせ

在宅介護者家族会は6月の開催はございません。



<外出支援サービス協力員の募集について>



大崎上島町社会福祉協議会では、バスなど公共交通機関の利用が困難な方で、ご家族の送迎が難しい高齢者や障がい者の方を病院へ送迎する「外出支援サービス」の運転協力員を募集しています。

運転協力員になっていただくには、国土交通大臣が認定する簡単な講習会の受講が法律で義務付けられています。今回の講習会は次のとおり開催されます。

日程：6月4日(土)、6月5日(日)の2日間

会場：下見福祉会館(東広島市西条下見)

※受講に係る交通費、受講料などは本会が負担します。



ご協力いただける方は、

5月25日(水)までに

社協本所(☎62-1718)

担当：塩飽、安本まで

ご連絡ください。



<事前登録 災害ボランティア募集について>

今年度も災害支援にかかる災害ボランティアの事前登録が行われています。

本会も昨年度から事前登録制を取り入れ、多くの方にご登録いただいています。

この事前登録システムは、災害ボランティアセンターが立ち上がった際、活動日の予約などができ、ボランティア活動をスムーズに行うために管理されます。

昨年度登録された方で、今年度も引き続きご協力いただける方も再度登録が必要となりますので、右のQRコード(ボランティア登録用)をお持ちのスマホ等で読み取って手続きをお願いします。

詳しい内容につきましては、本会ホームページか右のQRコード(説明広報資料用)を読み取ってご確認ください。

今年度もご協力のほど、何卒よろしく申し上げます。



ボランティア登録用



説明広報資料用

「社協だより」は、皆様からの社協会費・寄付金などにより、発行させていただいております。